

KOSÉ
SUSTAINABILITY REPORT
2005

社会・環境報告書2005

薬用
雪肌精

MEDICATED
SEKKISEI

KOSÉ

ひとりひとりが『正しきことに従う心』を持って



CSRの原点と創業の精神

コーセーグループは、企業経営の基本となる存在理念に「英知と感性を融合し、独自の美しい価値と文化を創造する」を掲げ、独自の技術で最高の品質の化粧品をお客さまにお届けすることを企業活動の基本としています。1946年に創業して以来、常に優れた化粧品の供給に力を注ぐとともに、新しい化粧文化の創造を提案し続けてきました。

パウダーファンデーションや2ウェイファンデーション、美容液などに代表されるように、コーセーが初めて開発し、化粧品市場に定着させてきた化粧品は数多くありますが、これらは人々の美しさを求める声に、なんとかして応えたい

という使命感から生まれてきた結果であると考えています。

コーセーグループの創始者である小林孝三郎の言葉に、『正しきことに従う心』があります。孝三郎は座右の銘としてだけでなく、社員に対して機会あるごとに「正しきことに従うことは勇気が必要であり、努力がいる」と話し、正しきことに従って行動することの大切さを説いてきました。この『正しきことに従う心』は、コーセーグループの企業精神の根幹として今でも語り継がれています。

最近ではCSRという言葉で、企業の社会的責任が問われていますが、この概念は決して新しいものではありません。日本では商業の発達した江戸時代には、す

でにCSRに共通するような考え方が、商いに対する心構えとして語られています。よく言われる近江商人の、売り手よし・買い手よし・世間よしという『三方よし』はその代表ですが、ステークホルダーとの共生を旨とするCSRの要件として語られる内容と何ら変わるものではないと考えております。

小林孝三郎は明治45年、弱冠15歳という若さで化粧品業界に身を投じましたが、苦勞を重ねつつ、身をもって『三方よし』のような商売の極意を体得したのではないかと思います。戦後にコーセーを創業してからは、商品のよさでお客様から信頼され、共存共栄を目指した販売制度の提案でご販売店から信頼され、誠実で真摯な姿勢がお取引先をはじめ



する多くの方々の信頼を集め、今日のコーセーグループの基礎を築きました。

行動規範は『正しきことに従う心』

現在、コーセーグループではCSRに対する取り組みを重要な経営課題のひとつとして位置付けています。その一環として、本年2月に『コーセーグループ行動指針』を策定しましたが、その中心をなす行動憲章として、創業者の言葉である『正しきことに従う心』を据え、『コーセーグループは正しいことは何かを見つめながら“正しきことに従う心”

をもって、倫理に即した行動に徹し、法令・社会的規範を遵守し、コーセーグループに関わる全ての人々の人権を尊重し、お客さまをはじめ広く社会から支持される誠実で誠意のある企業であり続けることを目指します』と明記しました。

コーセーグループが果さなければならぬCSR、つまり社会的責任につきましては、これまで各部門ごとに行ってきました。しかし、今後は企業活動の中に明確に位置付け、組織的な展開をはかっていくためにCSR委員会を設置いたします。

そして、お客さまはもとより、お取引先のみなさま、株主のみなさま、コーセーグループで働く社員のみなさん、そして地域社会や地球環境とよりよき共生を実現していきたいと考えています。

環境保全是社員ひとりひとりの意識から

昨年までは、様々な取り組みの中でも環境保全活動を中心にレポートをまとめ、皆さまにご報告してまいりましたが、本年はCSRに関連する取り組みもご紹介させていただくことにいたしました。まだ、取り上げる内容に偏りや不備なものも含まれていることと思いますが、次へのステップの第一段階と考えております。

環境保全活動については、1997年に地球環境委員会を設置して積極的に取り組んでおります。すでに目に見える成果を上げつつあると思いますが、関係会社

の工場も含めた全生産拠点と全物流拠点に引続き、昨年は中国の工場でもISO14001の認証を取得いたしました。また、活動の幅も組織として取り組むものから、社員ひとりひとりが取り組む草の根運動的なものまで広がりつつあります。京都議定書で定められた日本の温室効果ガス排出量の削減目標である6%を達成しようという国民的プロジェクト『チーム・マイナス6%』や、本社の所在地である東京都中央区の実施している環境清掃運動『きれいにし隊』への参加などはその一例です。主な生産拠点ではすでに取り組んでいるゴミのゼロ・エミッションを、各事業のオフィスでも実施しようという『ゴミ・ゼロ運動』も広まりつつあります。

コーセーグループは、今後ともステークホルダーのみなさまのご意見をいただきながら、事業活動を通して、将来にわたって持続することのできる社会の実現と、地球環境の保全に貢献してまいりたいと考えておりますので、よろしくご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社コーセー
代表取締役社長 小林 保清